

グローバル化と 文化多様性の せめぎあい

神戸大学大学院国際文化学研究所主催
第15回国際シンポジウム

2010年10月31日(日) 13:30~17:10 (13:00より受付開始・開場)

会場 兵庫県立美術館 ミュージアムホール 参加費 無料 (事前申込が必要です)

ユネスコは2003年に「無形文化遺産の保護に関する条約」、2005年には「文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約」を採択した。その背景には、アメリカ主導による政治・経済のグローバル化と、文化産業による文化的画一化に対抗するさまざまな思惑が見え隠れしている。また、文化多様性条約を批准していない日本でも、神戸(2008、デザイン部門)や金沢(2010、クラフト部門)が「ユネスコ・創造都市ネットワーク」に認定されるなど、都市間レベルでの文化協力によって、文化多様性を尊重した創造都市への構想が具体化しつつある。

本国際シンポジウムでは、このような現代文化の新しい動向と課題を「グローバル化と文化多様性のせめぎあい」というテーマで切り取り、有形・無形文化遺産の保護、現代アートと政治・経済、都市文化政策などの観点から明らかにしたい。

プログラム

13:00 受付開始・開場

13:30-13:40 開会・主催者挨拶

13:40-14:20 講演1:

松浦 晃一郎

(前・ユネスコ事務局長[1999-2009年])

「グローバル化と文化多様性のせめぎあい
—ユネスコでの10年の経験を踏まえて—」

14:20-15:00 講演2

養 豊

(兵庫県立美術館館長、金沢21世紀美術館初代館長)

「デザイン力が社会を変える」

15:00-15:20 休憩

15:20-17:00 パネルディスカッション

15:20-15:40 パネリストコメント1

河野 俊行

(九州大学大学院法学研究院国際関係法学部門教授、
無形文化遺産保護条約第三回締約国会議議長)

「国際条約を通して見た文化多様性」

15:40-16:20 パネリストコメント2 (通訳付き)

ミハエル・シュレーン

(大阪ドイツ文化センター館長)

「グローバル化と文化多様性のはざまでの対外文化
政策の課題——ゲーテ・インスティテュートの事例」

コーディネーター **藤野 一夫**

(神戸大学大学院国際文化学研究所教授)

16:20-17:00 ディスカッションおよび質疑応答

17:00-17:10 閉会挨拶

参加申し込み方法

下記の連絡先に、郵便ハガキ、ファックス、メールのいずれかの方法でお申し込みください。

連絡先

神戸大学大学院国際文化学研究所
国際シンポジウム実行委員会

住所: 〒657-8501
神戸市灘区鶴甲1-2-1

FAX: 078-803-7509

E-mail: gjcls-soumu@office.kobe-u.ac.jp

TEL: 078-803-7515

(国際文化学研究所総務係)

URL: <http://web.cla.kobe-u.ac.jp/>

参加申し込み期間

2010年10月4日(月)~

10月22日(金)

なお、定員(150人)になり次第受け付けを
締め切らせていただきます。

会場案内



兵庫県立美術館への交通案内

・阪神電車「岩屋」駅より徒歩8分、JR「灘」駅より徒歩10分、阪急電車「王子公園」駅より徒歩20分。いずれも駅より南下。
・JR三ノ宮から、阪神バス「HAT神戸行」にて約13分または神戸市バス「101系統」「29系統」にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ。

後援: 大阪ドイツ文化センター

